

2 農業産出額及び生産農業所得（都道府県別推計）

(1) 都道府県別（上位5道県）

令和元年における農業産出額の上位5道県（以下単に「上位5道県」という。）は、1位が北海道で1兆2,558億円（対前年増減率0.3%減少）、次いで鹿児島県が4,890億円（同0.6%増加）、茨城県が4,302億円（同4.6%減少）、千葉県が3,859億円（同9.4%減少）、宮崎県が3,396億円（同1.0%減少）となっている。

表1 上位5道県の農業産出額の推移

都道府県	平成25年	26	27	28	29	30	令和元年	
							実数	対前年増減率
	億円	億円	億円	億円	億円	億円	億円	%
合計	85,748	84,279	88,631	93,051	93,787	91,283	89,387	△ 2.1
うち北海道	10,705	11,110	11,852	12,115	12,762	12,593	12,558	△ 0.3
鹿児島	4,109	4,263	4,435	4,736	5,000	4,863	4,890	0.6
茨城	4,356	4,292	4,549	4,903	4,967	4,508	4,302	△ 4.6
千葉	4,141	4,151	4,405	4,711	4,700	4,259	3,859	△ 9.4
宮崎	3,213	3,326	3,424	3,562	3,524	3,429	3,396	△ 1.0

注：令和元年農業産出額における上位5道県について表章した。

(2) 上位5道県の農業産出額構成割合

上位5道県における令和元年農業産出額の構成割合をみると、茨城県及び千葉県は耕種部門の割合が高く、北海道、鹿児島県及び宮崎県は畜産部門の割合が高くなっている。

また、北海道は乳用牛、茨城県及び千葉県は野菜、鹿児島県及び宮崎県は肉用牛の割合が最も高くなっている。

平成25年と比較すると、各道県とも畜産部門の割合が上昇している。

図1 部門別構成割合の比較（北海道）

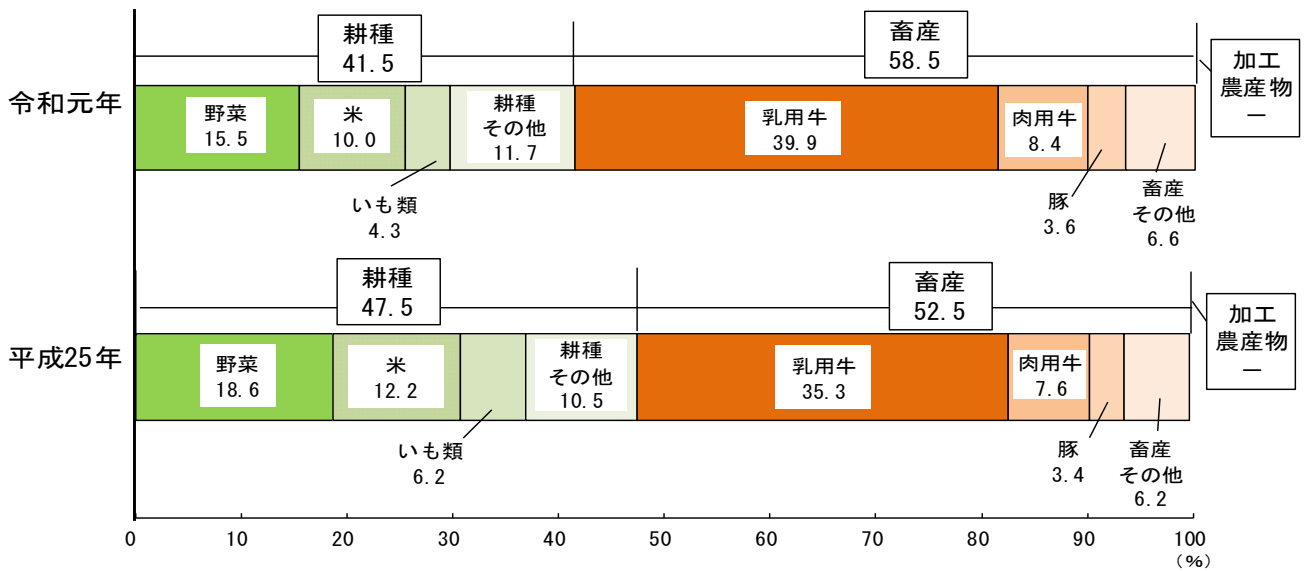


図2 部門別構成割合の比較（鹿児島県）

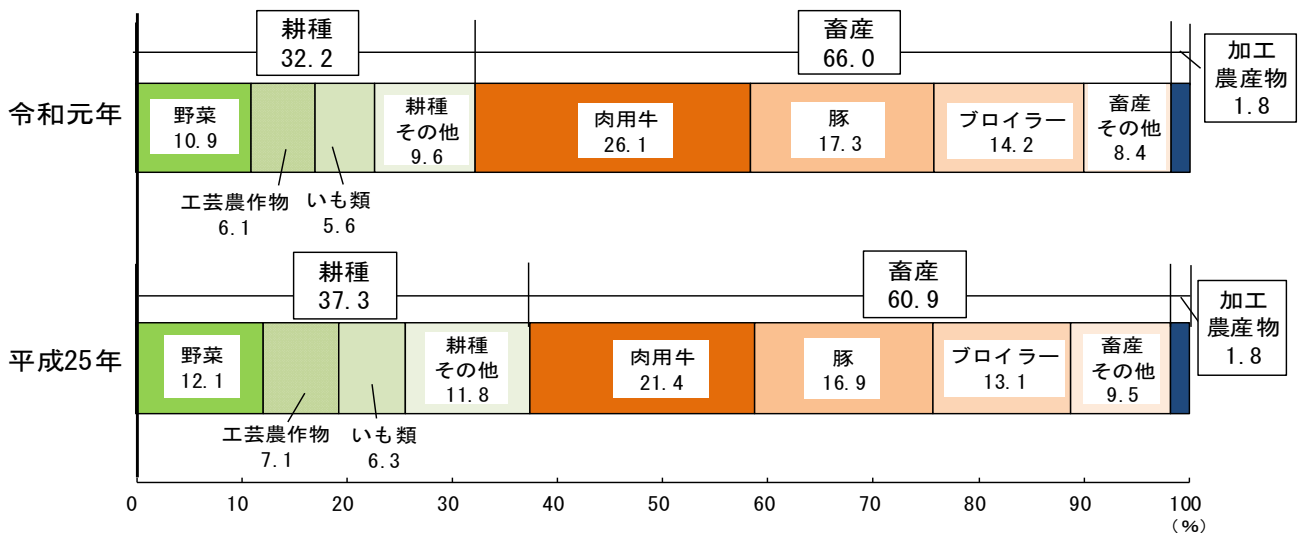


図3 部門別構成割合の比較（茨城県）

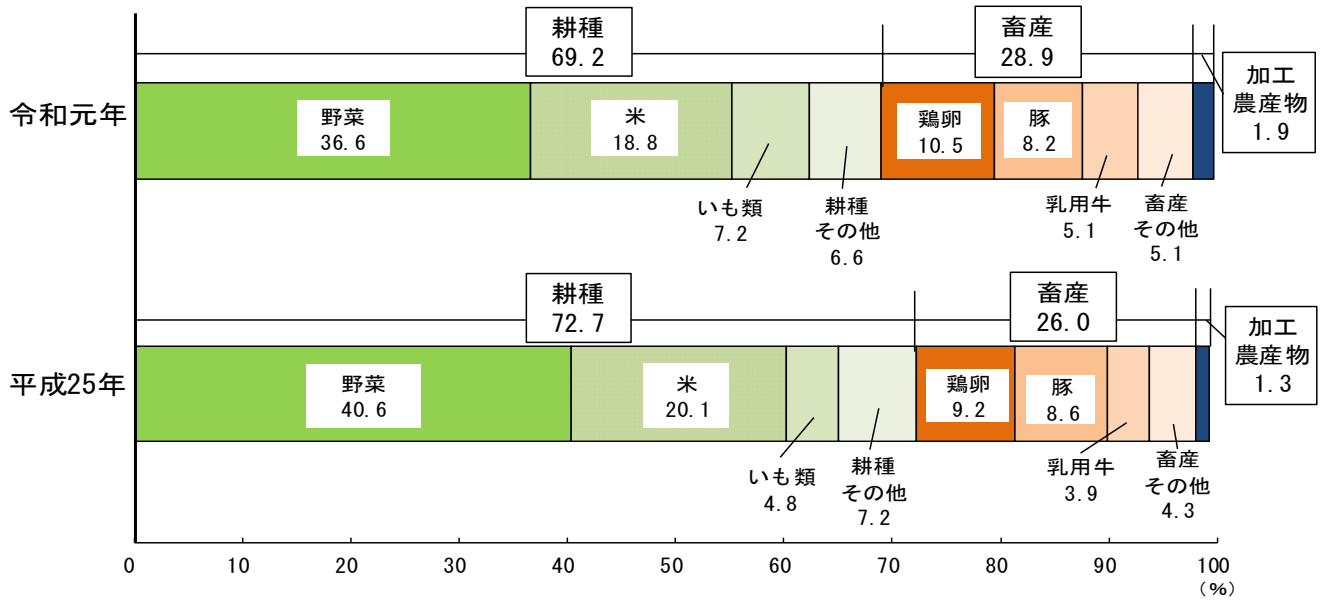


図4 部門別構成割合の比較（千葉県）

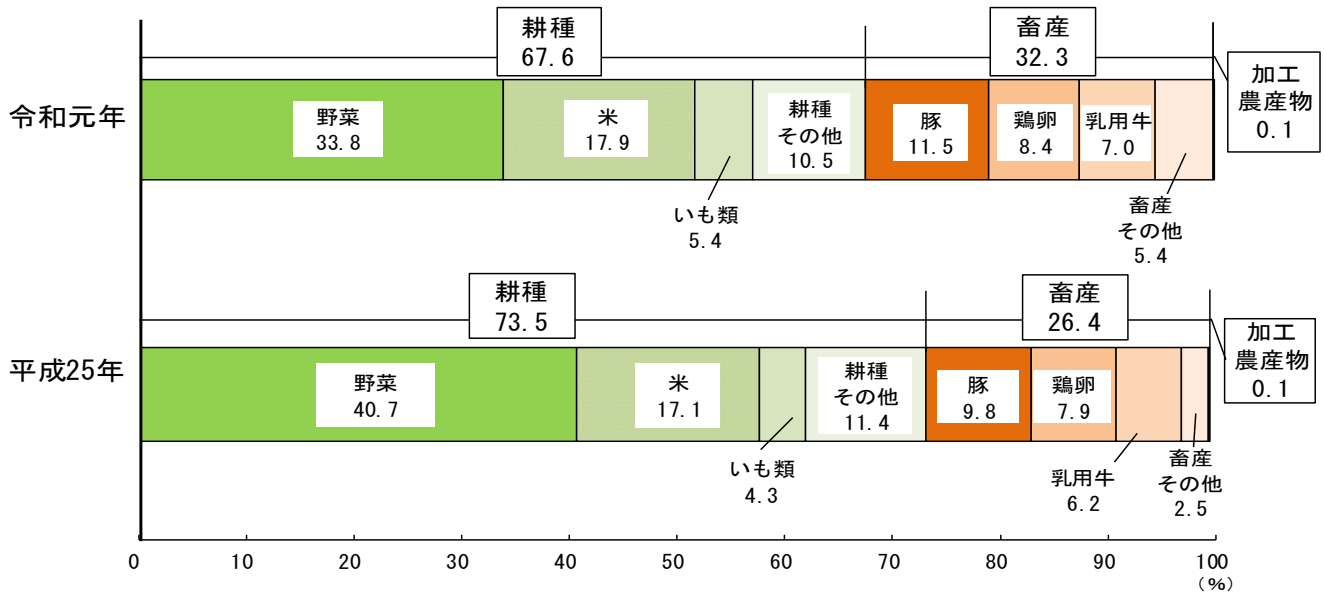
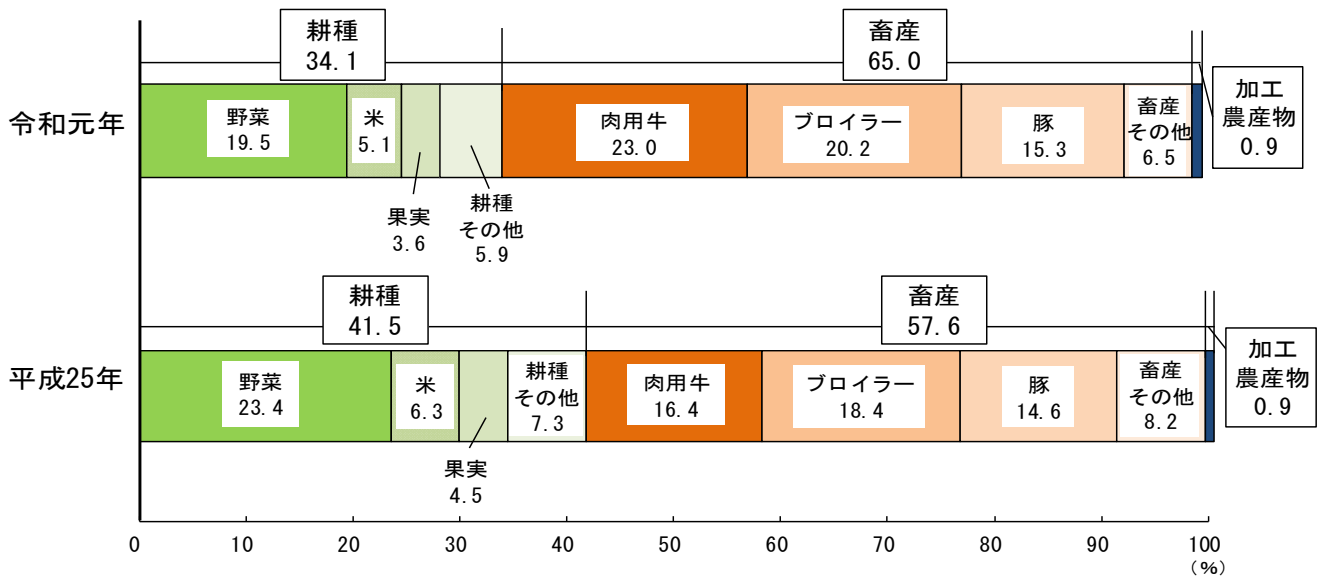


図5 部門別構成割合の比較（宮崎県）



(3) 部門・品目別

ア 耕種部門における部門・品目別産出額の都道府県別割合をみると、米は新潟県（構成割合8.6%）、いも類は北海道（同27.0%）、野菜は北海道（同9.1%）、果実は青森県（同10.9%）、花きは愛知県（同16.7%）、茶は鹿児島県（同31.2%）が最も高くなっている。

イ 畜産部門における部門・品目別産出額の都道府県別割合をみると、生乳は北海道（同51.7%）、肉用牛は鹿児島県（同17.1%）、豚は鹿児島県（同13.8%）、鶏卵は茨城県（同9.9%）、ブロイラーは鹿児島県（同19.8%）が最も高くなっている。

図6 部門・品目別産出額の都道府県の構成割合

